



向山小学校の教育目標：○やりぬく子 ○思いやりのある子 ◎よく考える子

自己肯定感を高める

校長 早川 修一

「自分には、よいところがありますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた割合は、全国平均、東京都平均ともに約76%、向山小平均は約89%。

これは、4月に全国の6年生を対象に行われた学力・学習状況調査の結果です。

自己肯定感の意味を辞書で調べると、「自らの価値や存在意義を肯定できる感情」と説明されています。具体的には、「自分は生きる価値のある人間なんだ」「自分は誰かに必要とされている人間なんだ」と、自分のダメな部分も良いところも含めて肯定できる感情のことです。

自己肯定感の高い子供は、自分に自信があり、何事にも挑戦していく強い心を持っています。また心に余裕があり、人に優しく親切に接することができます。

自己肯定感とは、子供たちに生きる力を育み、これからの人生を切り開いていく上での大きな力となります。また、向山小の目指す「やりぬく子 思いやりのある子 よく考える子」を育む上で、極めて重要な要素でもあります。

自己肯定感を高めるのに大切なこととして、次のようなことが言われています。

どんな時でもあなたは大事な存在だということを伝えること。子供ですから当然間違いをしたり失敗をしたりしてしまうこともあります。そのような場合でも、感情的に叱ったり決めつけたりするのではなく、愛情をもってその子のした行為について叱り、子供の人格を否定するような言い方をしないことが大切です。

子供の小さな進歩や頑張っている様子を見つけ、認めてあげること。大きな目標も大切ですが、スモールステップを設定してあげることで、小さな達成感を積み重ねることができるようになります。また、結果だけで評価するのではなく、そこまでの頑張りを認めて褒めてあげることが、次への意欲につながります。

子供の話に真剣に耳を傾けて聞いてあげること。忙しいとなかなか難しいことではありますが、少しでも時間を作って聞いてあげること、子供は受け止めてもらえているという気持ちになります。

「ありがとう」という言葉をかけること。この言葉は、よく魔法の言葉とも言われます。ちょっとしたことでも、感謝の気持ちを伝えることで、自分は役に立つんだという実感をもて、人のために何かしようとする意欲が育ちます。

学校、保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、未来を担う向山小の子供たちのために、自己肯定感をさらに高めるよう努めていきたいと考えています。

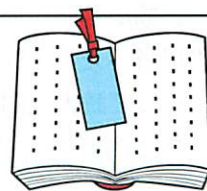
◆読書週間を終えて

向山小での初めての読書週間です。各クラスへのブックトーク(テーマに沿って本を紹介し読書の動機づけをすること)はかなり緊張しました。

ふだん図書館の時間に会える低学年は、いつもの読み聞かせと違うぞ!という表情でしたが、よく聞いてくれてほっとしました。5年生の「トイレ」に関する本の紹介では、担任の先生がテーマにぴったりの谷川俊太郎の詩を書棚から探して朗読してくださいました。思いがけず連携することができ、ブックトークが深まりました。図書担当の先生をはじめ、先生方に様々な協力いただき子供たちへ届いたと感じています。

そして読書週間は図書委員さんの力のみせどころです。朝の図書集会和、低学年への読み聞かせを見学させていただきました。貸出当番で接するだけではわからない頑張る姿を知ることができました。ありがとうございました。

学校図書館支援員 保谷文



生活目標 「みんなで仲よく遊ぼう。」

あいさつ目標 『いっしょに遊ぼう』 声かけて』

保健目標 「目を大切にしよう」



給食目標 「みんなで楽しく食べましょう。」

平成28年 10月行事予定		
1	土	都民の日
2	日	
3	月	安全指導日 委員会活動
4	火	ドリームハッピー
5	水	手話指導教室(4年)
6	木	
7	金	体育朝会(長縄集会)
8	土	学校公開日(オリンピック・パラリンピック関連授業・障害者スポーツ体験)
9	日	
10	月	体育の日
11	火	避難訓練
12	水	研究授業(1年2組) 1年2組以外は午前授業
13	木	歯科検診(全学年)
14	金	体育朝会(短縄)
15	土	
16	日	
17	月	ハッピータイム クラブ活動
18	火	
19	水	区教育会全体研究会のため午前授業
20	木	
21	金	
22	土	〔地球温暖化対策〕エコライフデー エコライフチェックは3~6年生
23	日	
24	月	委員会活動
25	火	演劇鑑賞教室「紙のおとぎばなし」
26	水	
27	木	就学時健診(午前授業)
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	クラブ活動

学年の窓～6年生～

6年生にとって二度目の移動教室から帰ってきました。今年は、班活動を多く取り入れたことで、自分たちで話し合い、自分たちで判断する経験をたくさんしてきました。

班活動というと、一見自由なようですが、今まで以上にきまりを守り、人の気持ちを考える必要があり、先生のもとで全員が行動するときよりもたくさんのエネルギーを使います。今回、マザー牧場の散策、アジの開き体験、学年レク、鴨川シーワールドの散策は、班で活動しました。班の全員で立ち止まり、次のコースを話し合う姿、疲れた友達を気遣い、みんなで休憩する姿など、互いのことをよく考えて動く子供たちの姿をたくさん見ることができました。

男女が協力し、相手のことを考えて行動したり発言したりすることは、子供たちが今後出て行く社会でも必要なことです。移動教室だけで終わらせず今後に生かして行ってほしいと思うと共に、この経験を生かせる活動を残り少ない学校生活に取り入れていきたいと思います。

6年担任 熊井留美 及川祐輝

ドリームハッピー

たてわり班でのお店屋さんごっこを通して、異学年の交流を図る行事です。宝探し、ボーリング、射的、ものまねジェスチャー等、6年生を中心に各班で考えた楽しいお店が並びます。店番も、お店を回るのもたてわりペアで行います。

児童が校舎内を移動し、混雑が予想されるため保護者の方の参観はできませんが、ぜひお子さんにお話を聞いてみてください。

特活部 田中真理子

ようこそ、向山小学校へ

佐藤 日出之進 先生

3年生から6年生までの算数少人数担当の先生として、9月5日付で本校に着任されました。教師としての経験豊富な大ベテランです。子供たちは早速「ひでのしん先生！」と親しみを込めて呼んでいます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

小中一貫教育

昨年度に引き続き、開進第二中学校・南町小学校・向山小学校の三校で、人権教育についての研究を進めています。また、6月に本校で行われた「校区別協議会」では、開二中の先生が各クラスの指導に入ったり、スムーズに学校生活が送れるように子供の様子や指導について話し合いをもったりしました。

担当者 林康子 和田遼子

